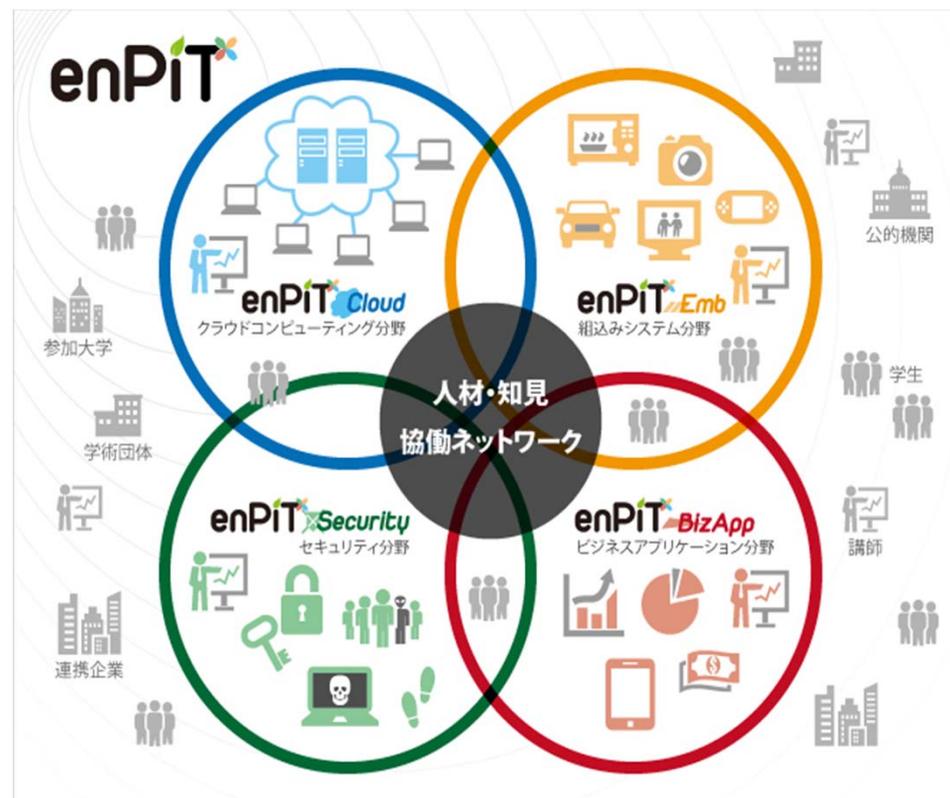
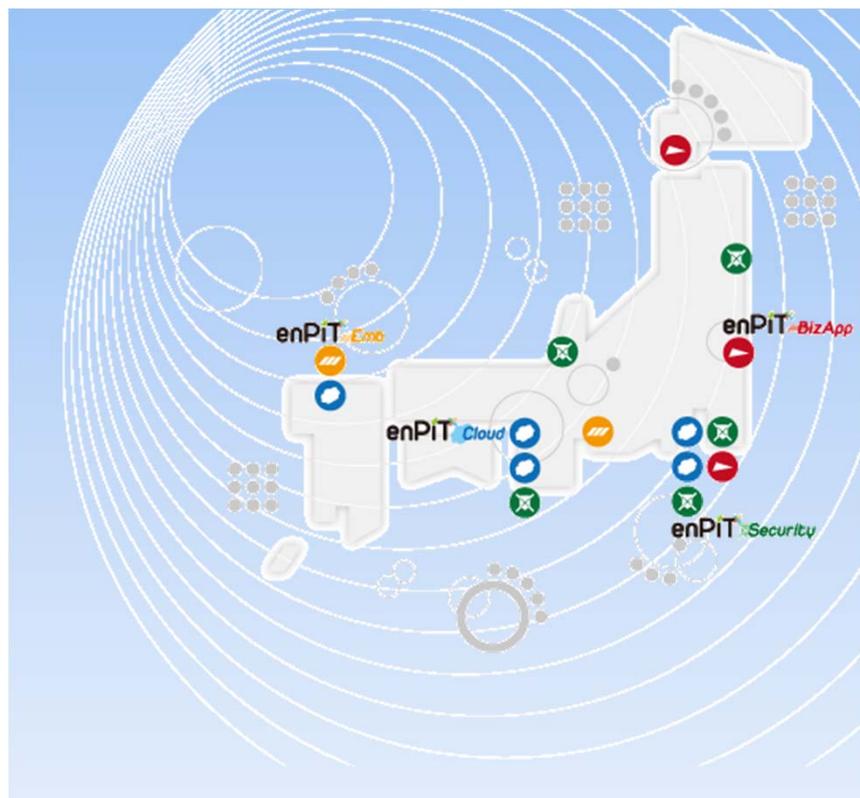


# 分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク (enPiT)

<http://www.enpit.jp/>



enPiTは、大阪大学を代表として全国15の大学が連携して社会の新たな価値や産業の創出を情報技術の応用を通じて行える人材の育成を目指し、分野や地域の枠を越えた産学の協働ネットワークを構築するもの。筑波大学は、ビジネスアプリケーション分野代表校。

<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/enPiT/>

# enPiT-BA分野 [筑波大実施コース] 全体の流れ enPiT BizApp ビジネスアプリケーション分野

4月: enPiT  
エントリー

4月~7月

7月: 短期集中  
合宿受講審査

1st week: 8/19~8/23  
2nd week: 9/24~9/30 (土日除く)

10月~12月 (または1月)

## 基礎知識学習

短期集中合宿  
受講のための  
事前準備

## 短期集中合宿

「プロジェクト実践ワークショップ」

(Light: 1st)

または

「モバイルサービスソフトウェア開発」

(Standard: 1st)

&

「ビジネスアプリケーション総合開発演習」

(Standard: 2nd)

## 分散PBL

「イニシアティブ  
プロジェクト」

(Light)

または

「PBL型システム  
開発B」

(Standard)

発表会



修了証

ソフトウェア工学分野  
の基礎科目  
ビジネスアプリケーション  
開発基礎科目

Light Course: 1st week

or

Standard Course: 1st & 2nd  
weeks

習得知識を元に  
PBLによる開発  
を実施

# enPiT参加条件, 短期集中合宿等受講条件

## \* 参加条件:

- 情報系の大学院に在籍している
- 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している
- 情報系企業における実務経験を有する

## \* 短期集中合宿, 分散PBL受講条件: 以下の項目を総合し合計3点以上の者

1. 情報処理技術者試験に合格 (最大3点; ITパスポート 2点, 基本情報技術者以上 3点)
2. プログラミングの知識 (最大3点)
  - 卒業研究や学部(学群)での実験などで、500ステップ以上のプログラムの作成経験がある 2点
  - プログラミングコンテストに入賞、あるいはグループプロジェクトでの開発経験がある 3点
3. ソフトウェア開発に関する基礎知識 (最大2点)
  - ソフトウェア開発に関連する学部科目2単位以上を取得済み 1点
  - 科目「ソフトウェア開発工学」の単位取得済み、またはサマースクールまでに取得見込み 2点
4. 情報技術の動向に関する知識 (1点)
  - 「最新IT動向に関する特別講義」または「ICT社会イノベーション特論」の単位を取得済み、またはサマースクールまでに取得見込み 1点
5. 指導教員からの推薦状 (1点)

# 短期集中合宿 Light Course :「プロジェクト実践ワークショップ」

(1<sup>st</sup>week: 2013. 8/19～5日間) : 概要

	午前1 (9:30-10:45)	午前2(11:00-12:15)	午後1(13:30-14:45)	午後2(15:00-16:15)
8/19 (月)	<p>情報デザイン関係 (佐々牧雄 Senior UX Researcher [パロアルト研究所 イノベーションサービスグループ])</p>		<p>【 ミニPBLの実施 】 (担当: 嵯峨 智准教授, 渡辺知恵美助教: 筑波大)</p> <p>(1) 要求の理解と仕様策定 (2) 実装環境の構築とスコープの設定 (3) 開発計画の策定 (4) テストの手法 (5) レビューと顧客からのフィードバック</p>	
8/20 (火)	<p>組み込みソフトウェア・ドキュメンテーション (塩谷 敦子 氏[イオタクラフト 事業総括 執行役員])</p>			
8/21 (水)	<p>プロジェクトマネジメント (酒森 潔教授: 産業技術大学院大学)</p>			
8/22 (木)	<p>ロジカルシンキング (高橋 慈子 氏 [株式会社ハーティネス代表取締役])</p>			
8/23 (金)	<p>タブレットの応用: 電子書籍とオープンコンテンツ (来住伸子教授: 津田塾大学情報科学科)</p>		<p>ミニPBL成果発表会</p>	

# 短期集中合宿 Standard Course: 「モバイルサービスソフトウェア開発」

(1<sup>st</sup>week: 2013. 8/19～5日間): 概要

	午前1 (9:30-10:45)	午前2(11:00-12:15)	午後1(13:30-14:45)	午後2(15:00-16:15)
8/19 (月)	<p>情報デザイン関係 (佐々牧雄 Senior UX Researcher [パロアルト研究所])</p>		<p>【前半5コマ】:「ソフトウェア工学手法」関係 (早瀬康裕助教:筑波大)</p> <p>1コマ目: 講義 (バージョン管理システム・チケット管理システム, 自動テストツールと, その意義)</p> <p>2コマ目: バージョン管理システムの使用と, 共同開発 (共同編集) の実践</p> <p>3コマ目: バグ管理システムの使用と, チケット駆動開発の実践</p> <p>4コマ目: 自動テストおよびテスト駆動開発の実践</p> <p>5コマ目: 総合開発演習</p>	
8/20 (火)	<p>組込みソフトウェア・ドキュメンテーション (塩谷 敦子 氏[イオタクラフト 事業総括 執行役員])</p>		<p>【後半5コマ】:「モバイルアプリ開発」関係 (山際伸一准教授:筑波大)</p> <p>1コマ目: モバイル端末とプログラム開発環境 (Android の開発手法のおさらい)</p> <p>2コマ目: センサを使ったアプリケーション開発演習</p> <p>3コマ目: カメラを使ったアプリケーション開発演習</p> <p>4コマ目: ARアプリケーション開発演習</p> <p>5コマ目: 最終課題プレゼンテーション</p>	
8/21 (水)	<p>プロジェクトマネジメント (酒森 潔教授:産業技術大学院大学)</p>			
8/22 (木)	<p>ロジカルシンキング (高橋 慈子 氏 [株式会社ハーティネス代表取締役])</p>			
8/23 (金)	<p>タブレットの応用: 電子書籍とオープンコンテンツ (来住伸子教授:津田塾大学情報科学科)</p>			

# 短期集中合宿 Standard Course: 「ビジネスアプリケーション総合開発演習」 概要

(2<sup>nd</sup> week: 2013. 9/24～5日間):

	午前1 (9:30-10:45)	午前2(11:00-12:15)	午後1(13:30-14:45)	午後2(15:00-16:15)
9/24 (火)	ビジネスインテリジェンス(データ分析)関係 (渡辺知恵美助教:筑波大)		<b>【 BizApp分野におけるミニPBLの実施 】</b> (担当: 嵯峨 智准教授, 渡辺知恵美助教, 山際伸一准教授, 早瀬康裕助教:筑波大)  (1) 要求の理解と仕様策定 (2) 実装環境の構築とスコープの設定 (3) 開発計画の策定 (4) テストの手法 (5) レビューと顧客からのフィードバック	
9/25 (水)	情報セキュリティ関係 (山口利恵 先生: 東京大学)			
9/26 (木)	携帯型エンタテインメントシステム (青木圭一氏: SONY Comp.Ent.)			
9/27 (金)	SNS実用例 (後藤田 中 先生; 国立スポーツ科学センター)	プレゼンテーション技術 (大木瞳美氏: 山形放送)		
9/30 (月)	ミニPBL成果発表会			